

キー・トピック

- 「東方経済フォーラム2019」のビジネスプログラムが公開
- 「極東通り」展が9月3日から8日かけてウラジオストクで開催
- 「ガスプロム社」が大陸棚開発プロジェクト実現に向けてルスキー島に研究開発センターを



東方経済フォーラムのニュース

2019年7月30日「Regnum」

ヤクーチアで東方経済フォーラム出張会議が開催

同会議には、ロシア連邦省庁、ロシア極東地域、経済界、および国際金融・コンサルティング組織の代表者らが出席した。参加者は、開発銀行によるロシア極東地域への融資の可能性、国際金融機関の参加による投資プロジェクトの実施の見通しについて意見を交わした。

訪問セッションの主要イベントは、「ロシア極東の発展に対する国際金融機関の貢献」をテーマとするパネルディスカッションであった。

<https://regnum.ru/news/economy/2675979.html>

2019年7月26日「RIA ノーボスチ」

東方経済フォーラムで「極東通り」が開催

展示会ではロシア極東の11の地域の特色、経済的ポテンシャル、観光業の可能性、伝統文化などが紹介される。全参加地域から、ゲストに向けてすでに実現済みの投資プロジェクトや有望な投資プロジェクトも披露される。今年には2018年に極東連邦管区に編入されたブリヤート共和国とザバイカリエ地方が初めて展覧会に参加することになっている。

9月3日から6日にかけて展示会は東方経済フォーラム参加者に向けて開かれ、9月7日からは子沢山の家族、年金受給者、退役軍人、青少年機関代表者などに向けた社会の日が予定され、9月8日は全希望者に向けて開かれる。

<https://ria.ru/20190726/1556895597.html>

2019年7月25日「タス通信」

東方経済フォーラムで「社会の健康づくり広場」が初開催

「社会の健康づくり」空間は、フォーラムの医学界・科学界代表者が集う場となる。東方経済フォーラムの健康分野に関する議論では、遠隔地の医療提供、ヘルスケアにおける新技術導入、生物学的安全性、極東における公衆衛生プログラムなどの課題に焦点が当てられることが予定されている。

<https://tass.ru/novosti-partnerov/6700504>

2019年7月16日「RIA ノーボスチ」、「タス通信」、「コムソリスカヤプラヴダ」、「Forbes」、「ヴェスチー・ルー」、「ロシア新聞」、「イズベスチヤ」、「Lenta.ru」

「東方経済フォーラム2019」のビジネスプログラムが公開

今年の「東方経済フォーラム2019」ビジネスプログラムは「経済成長を加速させるための新たな解決策」、「ビジネス環境の創設」、「ロシア極東と環太平洋地域：協力の機会の創出」、「生活質向上のための新たな解決策」からなる。

その他、プログラムには政府間ビジネス対話「ロシア－中国」、「ロシア－日本」、「ロシア－インド」、「ロシア－東南アジア諸国連合」、「ロシア－韓国」も含まれている。東方経済フォーラム開催期間中にはロシア・中国マスメディアフォーラム、ロシア・シンガポール首脳会議、「太平洋から大西洋まで 共通の経済空間」会議も開かれる予定である。

2019年7月8日「RT」

モスクワでインド首相の東方経済フォーラム訪問に向けた準備が話し合われる

ロシアのアントン・コビャコフ大統領補佐官とインドのヴェンカテッシュ・ヴァルマ大使が第5回東方経済フォーラムへのインド使節団参加準備について対談を行った。ヴァルマ大使によると、「今年のフォーラムにおける数々のイベントには、インドのナレンドラ・モディ首相が長を務めるインド使節団が参加を予定しております」

ビジネスプログラム内では両国の主要な事業化が参加するビジネス対話「ロシア－インド」の開催が見込まれている。さらにインドの経済的、産業的、観光の、文化的可能性を紹介するために、東方経済フォーラムにインドの展示ブースを設けることが計画されている。

<https://russian.rt.com/world/news/648252-forum-rossiya-indiya>

ロシア極東の国家政策

2019年7月19日「Forbes」

北極とロシア極東における鉱床の開発が容易に

事業リスクに基づいた地質調査のための下層プロット提供に関する適用原則が、ロシア極東および北極圏のカテゴリP1・P2固体鉱物が特定されたエリアまで含むように拡張された。

ロシア極東・北極圏開発省のアレクサンドル・クルティコフ副大臣によると、「これは、地質調査および鉱床の追加調査への民間投資に向けた大きな刺激となるでしょう」という。新たな取り組みにより、同様の投資が年間20～30%増加することが期待されている。

<https://www.forbes.ru/forbes-agenda/vostochnyy-ekonomicheskii-forum-2019/380345-poluchit-mestorozhdeniya-v-arktike-i-na>

2019年7月3日「タス通信」

年末までロシア極東で住宅ローンが年2%の利率で利用可能

アントン・コビャコフ大統領補佐官により、ロシア極東の住民に向けた住宅ローン優遇措置実施期間が指定される。住宅の購入・修理・建築のための2%のローンは、20年間までの期間、頭金なしで利用できる。同制度実施を目的として予算から約150億ルーブルが割り当てられた。

<https://tass.ru/nedvizhimost/6624733>

ロシア極東経済ニュース

2019年7月26日「インテルファクス」

中国の投資家が沿海地方で新たな木材加工業を立ち上げ

ウラジオストク自由港の登録企業「ジュンダ木材加工会社」が沿海地方のウスリースクでOSB、合板の生産を開始した。事業内容には合板、修理、輸送チェーン、材木倉庫の設置が含まれている。プロジェクトの総費用は1億5450万ルーブルに上った。

資源の無駄を出さない形での木材加工業はロシア国内市場をターゲット市場としており、沿海地方やロシア極東の他の地域の消費者に製品供給が行われることになる。OSB、型枠、合板など合計年間35000平方メートルの生産量を予定している。

<http://www.interfax-russia.ru/FarEast/news.asp?id=1050196>

ロシア極東発展の新たなメカニズム: 成功の実例

2019年7月4日「インテルファクス」

「ガスプロム社」が大陸棚開発プロジェクト実現に向けてルースキー島に研究開発センターを開設

新たなセンターは、炭化水素の水中採取と天然ガスの液化に関連する研究開発活動を専門とする。特に、同センターは、「サハリン2」プロジェクトのLNGプラントの第3ライン建設、ウラジオストク地方の中規模LNGプラントの建設、キリンスキーおよびユジノキリンスキー油田・ガス田開発の枠組み内で研究に従事することになる。

ロシア国営企業であるガスプロム社によるルースキー島エンジニアリング部門開設は、東方経済フォーラム2018の成果を受けてプーチン大統領の指令を受けてのものである。

<https://academia.interfax.ru/ru/news/articles/3189>